

かわかんネット

発行：一般社団法人 東北河川管理技術研究会事務局

〒980-0802 仙台市青葉区二日町 18-25 シャルム二日町 3 F

E-mail : triver@ae.auone-net.jp Fax : 022-398-8832

年頭にあたって

東北河川管理技術研究会 会長

宮内 利夫

新年明けましておめでとうございます。

高齢化の進展と公共事業への投資規模が縮小されている中、河川管理を取りまく環境に大きな変化が生じてきております。

これまでに整備された河川管理施設の維持管理に要する経費の増加、施設操作員の高齢化、局地的集中豪雨等を含めた危機管理対応などの諸課題に対する維持管理の充実が不可欠となっております。

昨年の10月に本研究会は一般社団法人として、新たなスタートをいたしました。

平成22年3月に任意団体として会の運営をはじめましたが、活動している中、社会変化に対応できる体制づくりが必要となりました。

どのような組織にするかについては、皆様方のご意見やご指導を賜りながら、短い期間ではありましたが一般社団法人移行への諸手続きをすませることができました。

また、一般社団法人化にあたっては、堤防等の河川管理のみならず、ダム、砂防を含めた河川管理全般を視野に入れ、幅広く取り組むことといたしました。

本研究会の柱ともなります3分科会（堤防、樋門樋管、河道）の運営も2回の開催と軌道に乗り始めており、第3回分科会におきまして今年度の成果として、とりまとめを行います。

今年度でまとめきれなかったものについては、引き続き検討していきますとともに、新たな課題についても取り組み分科会の更なる技術力の向上に努めます。

これからは、本研究会の目的を達成するための事業を活発に進めてまいりたいと思っております。

一般社団法人化に際し、ご尽力とご協力をいただきました皆様、そして会員の方々に厚く御礼申し上げますとともに、今後とも当研究会の活動運営にご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



分 科 会 報 告

現在、3分科会（①堤防、②樋門樋管、③河道）を立ち上げ、運営しております。
これまで、各々2回開催しており、その報告をいたします。

堤 防 分 科 会

◎ 第1回分科会

日 時：平成22年10月5日 16:00～17:30

場 所：公益ビル 3F会議室

出席者：10名

○議事要旨

・今回は会員の経験談や今後の分科会の方向性を議論し、以下の共通認識を確認

- ① 堤体材料や施工方法を吟味する必要がある。
- ② 堤防を守るための植生や管理方法の確立が必要。
- ③ 堤防健全度調査結果の活用を図る
- ④ 堤防の管理履歴の記録、保管が必要
- ⑤ 地域や河道特性に応じた管理が必要

→ メカニズムを理解した上での管理が重要。また、管理データの記録と継続性が重要

◎ 第2回分科会

日 時：平成22年12月9日 13:30～15:30

場 所：東急ビル 4F会議室

出席者：5名

○議事要旨

- ・今後の検討テーマと進め方について議論
- ・「施工方法を伝承」「除草の必要性和管理」「堤防点検の継続性と管理」が今後重要となる。
- ・今後の進め方として、以下の項目を今年度の成果目標とする。
 - ① 堤防法面施工の手引き（要領）の作成
 - ② 堤防除草のフィールド実験への提言
 - ③ 堤防健全度調査・河川巡視への提言

樋 門 樋 管 分 科 会

◎ 第1回分科会

日 時：平成22年10月5日 16:00～17:30

場 所：公益ビル 7F会議室

出席者：12名

○議事要旨

- ・今後の検討テーマと進め方について議論
- ・樋門樋管の課題として、「剛構造の空洞化」「柔構造の評価」「点検方法や記録の統一化」「操作のあり方」「管理を踏まえたゲートタイプ」が考えられる。

- ・その内、重点的に取り組むテーマは、「剛構造の空洞化」などの現象を早期に捉える「点検方法や記録の統一化」を焦点とする。

◎ 第2回分科会

日 時：平成22年12月13日 13:30～15:30

場 所：東急ビル 4F会議室

出席者：10名

○議事要旨

- ・河川管理施設は、経過とともに劣化が進行し、機能低下による災害発生の危険性がある。
- ・このため、施設の点検調査と継続性さらに統一的な点検方法を確立し、そのデータに基づく健全度評価と管理が重要。
- ・山形河川国道の特定専門巡視で実施した点検方法について議論。
- ・今後の進め方
 - 今年度の成果として、点検調査記録（案）を以下のスケジュールで取りまとめる。
 - ① 全施設数（断面別、年代別等）を調査しておく。
 - ② 様式に対する意見、判定に対する意見を取りまとめる。
 - ③ 点検項目と内容についての要領の素案を取りまとめる。

河 道 分 科 会

◎ 第1回分科会

日 時：平成22年10月5日 16:00～17:30

場 所：公益ビル 3F会議室

出席者：11名

○議事要旨

- ・今後の検討テーマと進め方について議論
- ・基本となる「流量観測の課題・問題点」、河道の変化を捉える「監視する視点」（水制もその視点として重要）、さらに「樹木と河床変化」の視点も重要。
- ・今後は以上の様な観点で議論し、河道管理のあり方について現役と議論を重ねる。

◎ 第2回分科会

日 時：平成22年12月9日 10:00～12:00

場 所：東急ビル 4F会議室

出席者：9名

○議事要旨

- ・今後の検討テーマと進め方について議論
- ・「データの確実性と整理」「河道の見方」が極めて重要
- ・今後の進め方
 - ① 流量観測については、観測地点の管理、観測体制、観測頻度、データの信頼性に向けた提言として取り纏める。
 - ② 河道の見方については、「名取川」「阿武隈川下流」をモデル河川として、航空写真等による河道の経年変化を基に監視地点などを選定し、さらに現地で要因を確認し、「川の見方」としての試案を作成し各河川へ普及を図る。



堤防分科会



樋門樋管分科会



河道分科会

東北河川管理技術研究会の活動

1. 活動状況

- 1) 第2回理事会<平成22年9月14日>
一般社団法人設立総会に向け、総会資料の確認(会則、役員、事業計画、予算の各案)、総会の運営について打合せを実施。
- 2) 事務所開所式<平成22年9月27日>
大崎八幡神社に参拝の後、開所式を実施。
- 3) 第1回総会及び第1回各分科会<平成22年10月 5日>
会員34名の出席により総会を開催、一般社団法人としてスタートし、各分科会を開催。
- 4) 第2回分科会<平成22年12月9・13日>各分科会を開催。
- 5) 第1回理事会<平成22年12月24日>
事務所移転について、承認された。
- 6) 事務所移転<平成23年1月7日>仙台市青葉区二日町18-25 シャルム二日町3F

2. 今後の活動予定

- 1) 第2回理事会 平成23年1月28日
- 2) 第3回分科会 平成23年2月中旬

編集後記

昨年は、任意団体から一般社団法人への移行への手続き、そして、事務所の開設、分科会の運営とあわただしい1年でした。事務局も本会の速い展開に情報が遅くなってしまいました。今後は、的確な情報発信に努めてまいります。本号は分科会の活動状況について、紙面を割きましたが次号以降は会員だよりも掲載したいので会員の皆様の投稿等をお願いいたします。(編集 川名 慶紀)